

● 看護部教育計画

研修名	テーマ	目的(ねらい)	参加者	内容	方法
新入職者オリエンテーション	社会人としての自覚を持つ	1.当法人の概要を知り組織の一員としての自覚を持つことができる 2.基礎知識・技術の確認をする	新入職者(看・助)	1.法人及び病院の概要・倫理 2.接遇 3.看護部の目標・方針 4.基礎看護技術 5.看護過程 6.リスクマネジメント	・講義 ・実技
フォローアップⅠ	新しい環境に適應できたか同期入職者の輪を深めよう	1.チームの一員として溶け込み環境に適應できる 2.新人同志親睦を深める	卒後1年目(看)	1.1ヶ月の振り返り 2.コミュニケーション 3.看護過程	・グループ討議 ・講義 ・実技
フォローアップⅡ	理想と現実のギャップを埋めよう	1.自己を振り返り、課題を明確にし意欲的に取り組める 2.急変時の対応ができる	卒後1年目(看)	1.フィジカルアセスメント 2.救急看護 3.心電図 4.救急外来体験実習・外来患者対応 5.交流会	・講義 ・グループ討議 ・実技
フォローアップⅢ	知識と技術のステップアップ	1.臨床看護に必要な技術を習得し、患者に適切な看護を提供する	卒後1年目(看)	1.看護過程 2.異常心電図 3.救急看護(意識消失アセスメント) 4.ケースレポートの進め方 5.6ヶ月振り返り	・講義 ・グループ討議
フォローアップⅣ	これまでの学びを確認しよう	1.技術チェックリストをもとに、到達度を確認する	卒後1年目(看)	1.技術チェック	・講義 ・グループ討議
フォローアップⅤ	この1年を大切に次年度に向けての目標を持つ	1.チームメンバーの役割を理解し、責任ある行動をとる 2.次年度の目標を明確にする	卒後1年目(看)	1.メンバーシップ 2.個々の目標の達成感・達成度の確認 3.次年度の課題を明らかにする	・レポート ・個人発表 ・フリー討議
2年目コース全5回	チームの一員として力を発揮しよう	1.基礎を確かなものにする 2.チームの一員としての役割を認識する 3.看護実践における管理的側面を理解する	卒後2年目(看)	1.フィジカルアセスメント 2.救急看護の実践 3.チームメンバーの役割	・実習 ・講義
リーダーコースⅠ	リーダーシップとは	1.リーダーシップ・メンバーシップを理解し、病棟での役割を理解する 2.医療事故に対するリスク感性を高め事故防止に繋げる	ステップ2以上	1.メンバーシップ・リーダーシップについて 2.専門職とは… 3.事故防止	・講義 ・グループ討議 ・課題レポート
リーダーコースⅡ	あなたは頼りにされています看護観を養う	1.自己の立場を理解し、エキスパートナースとしての自覚がもてる 2.倫理綱領を理解し、自己の看護観を深める	ステップ3以上	1.看護倫理、倫理綱領 2.リーダーシップ 3.退院調整	・講義 ・グループ討議 ・課題レポート
リーダーコースⅢ	セクションでのあなたの役割は何ですか	1.チームの一員としての自己の役割を考えることができる 2.自己啓発目標を立て、実践できる	ステップ4以上	1.期待される役割 2.チーム医療とリーダーシップ 3.自己変容	・講義 ・グループ討議 ・実践
リーダーコースⅣ	看護専門職として成長しよう	1.自己の看護観をみつめ、後輩指導に活かす 2.部署での自己の役割を認識し、自発的に行動する	ステップ4以上	1.ナラティブ 2.自己の看護を振り返る	・講義 ・個人作業・発表
看護補助者	チームの一員として自信を持って行動しよう	1.組織の一員としての自覚を持ち、役割を認識する 2.患者及び自分に対し、安全安楽に実施できる知識・技術を身に付ける	看護補助者	1.医療情勢の移り変わり 2.助手の役割・倫理 3.院内感染防止	・講義 ・実技
プリセプターワークショップⅠ	新人の受入れ準備はいいですか	1.プリセプターの役割を理解する 2.効果的な指導方法を学ぶ 3.教育計画を立てることができる 4.フィジカルアセスメントを再確認し、新人に正しく指導できる	プリセプター全員	1.プリセプターの役割について 2.効果的な褒め方・叱り方 3.看護基礎教育の現状と新人看護師の特性 4.指導の方法・評価の仕方 5.フィジカルアセスメント 6.年間計画立案・自分の目標設定	・講義 ・質疑・応答
プリセプターワークショップⅡ	新人を大切に育てよう	1.スタッフとの調整役ができる 2.プリセプティとコミュニケーションが上手にとれる 3.指導力を身につける 4.看護実践モデルを示す	プリセプター全員	1.新人の現状分析・問題の抽出と対策 2.リアリティショック 3.コミュニケーション 4.看護実践モデルの示し方 5.ケースレポートの取り組ませ方	・講義 ・グループ討議
プリセプターワークショップⅢ	新人に自信を持たせよう	1.新人の事故防止対策について考え実施する 2.新人の目標を妥当かどうか評価し、調整する	プリセプター全員	1.安全対策 2.新人の現状分析・問題の抽出と対策 3.新人のサイン(SOS)	・講義 ・グループ討議
プリセプターワークショップⅣ	役割はどのくらい果たせましたか	1.プリセプティの成長を評価し、教育の難しさを実感する 2.意欲的にケースレポートに取り組めるよう支援する	プリセプター全員	1.一年間を振り返り自己評価 2.2年目Nsへの支援	・講義 ・振り返り発表 ・グループ討議
看護研究学習会全10回	楽しく・根気よく・よい研究を	1.取り組みから発表までの基礎知識を学ぶ 2.最後まで興味を持ち取り組むことができる 3.学会発表へのステップとする	看護研究メンバー希望者	1.看護研究の進め方 2.看護研究の指導	・講義 ・個別指導 ・院内発表
救急看護全6回	救急看護の達人になろう	1.救急の為に基本的な技術が確実に実践できる 2.救急が必要とされる観察能力を身につける 3.臨床場面で指導・育成できる	卒後3～4年以上	1.基礎から学ぶ救急看護 2.主な疾患の緊急度・重症度 3.急変時の報告 4.救急外来における家族看護	・講義 ・グループ討議 ・実習
退院調整コース全5回	退院調整の知識、チーム医療を学ぼう	1.退院調整の展開ができる 2.社会資源の活用を学ぶ 3.訪問看護の実際を体験する 4.事例展開ができる	卒後3～4年以上	1.石心会病院における退院調整について 2.症状マネジメント 3.訪問看護の実際を体験し在宅看護を学ぶ 4.事例展開	・講義 ・グループ討議 ・実習 ・レポート
がん看護ハートシンナー・ハートメーカー	がん治療を理解し、患者と共に歩む	1.がん治療の概論を学ぶ 2.がん看護の基礎知識を習得する 3.コミュニケーションスキルを習得する	卒後4～5年以上	1.現在のがん治療・症状マネジメント 2.トータルペインの理解と看護 3.コミュニケーションロールプレイ	・講義 ・グループ討議 ・レポート
フィジカルアセスメント全5回	フィジカルアセスメントの知識を身につけよう	1.フィジカルアセスメントの基礎知識を身につける 2.正しくフィジカルアセスメントを実践できる	卒後3～4年以上	1.皮膚・爪、頭頸部・眼 2.呼吸器、心臓・血管系 3.乳房・腹部、筋・骨格、神経系	・講義 ・実技
透析看護コース全4回	透析の知識を深めよう	透析導入～維持期までの経過と看護を学ぶ	全職員	1.CKDの基礎 2.透析導入からの看護 3.事例検討 実地研修	・講義 ・グループ討議 ・発表会
心電図の基礎と応用コース	心電図が読めるようになろう	1.心電図の基礎を学ぶ 2.不整脈が読めるようになる	全職員	1.心電図の基礎について 2.正常波形について 3.不整脈の読み方、治療、看護について	・講義